

# 泉丘SSHだより

石川県立金沢泉丘高等学校



## 科学地理オリンピック 銀メダルを獲得！

対象：普通科・理数科の希望者

国際地理オリンピックの日本代表選考を兼ねている、科学地理オリンピックで、24Hの川崎さんが銀メダルを獲得しました。おめでとうございます！

本大会は、12月13日（土）に行われた1次予選に1,391名が参加し、その成績によって選抜された139名の選手が、2月15日（日）に全国11会場で行われた2次予選に参加しました。2次予選の得点上位14名に金メダル、続く25名に銀メダル、続く32名に銅メダルが授与されました。



## 地学オリンピック銅賞、敢闘賞を受賞！

対象：普通科・理数科の希望者

国際地学オリンピックの日本代表選考を兼ねている、地学オリンピックで、20Hの上田さんが銅賞を、20Hの中橋さんが敢闘賞を受賞しました。おめでとうございます！

本大会は、12月21日（日）にオンラインで行われた1次予選を通過した選手1,433名が1月25日（日）に行われた2次予選に参加し、その成績によって選抜された214名の選手が、3月15日（日）～17日（火）に全国11会場で行われた2次予選に参加しました。2次予選の得点上位10名に金メダル、続く20名に銀メダル、続く32名に銅メダルが授与されました。



## 金沢泉丘サイエンスグランプリを開催しました

対象：理数科1年生

2月10日（土）の午後に、金沢泉丘サイエンスグランプリを開催しました。今年のテーマは「サイエンスミステリー！」。チームで化学・物理・地学の実験を行いながら謎解きをし、財宝の獲得を目指すイベントでした。今回はこども科学財団に所属している小・中学生がゴールを目指して知恵を絞りました。10Hの皆さん、楽しい企画をありがとうございました。

全体説明



化学「レインボームステリー」



物理「サウンドミステリー」



物理「ロストハウスミステリー」



### 参加した小・中学生の感想

- 今までまったく分かんなかったことが分かるようになってよかったです。
- 科学についてよく知ることができたし、Storyもおもしろかったので、自分もこのような企画をぜひしてみたいと思いました。



1月16日（金）に中村留精密工業株式会社を訪問し、研修をさせていただきました。まず、会社の概要について説明を受けた後、2グループに分かれて工場見学をしました。会社が目指していることや、そのために取り組んでいること、工作機械を製作する過程にふれ、ロボットによる自動化が想像以上に進んでいることを肌で感じました。

工場見学後は、泉丘OB・OGの社員の方が2名登場し、生徒達の質問に答えてくださいました。現場で数学が使われていることや、コミュニケーションが大切という事など、具体的な例を提示し説明して下さったので、大変わかりやすかったです。最先端技術やものづくりの魅力、仕事への情熱を感じることができました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

2月7日（土）に開催された「近畿サイエンスデイ」（主催：大阪府立天王寺高校）に、本校からは理数科2年生が参加し、「ドローンのプロペラにおける翼の取り付け角度とひねりによる静音性の関係について」の研究成果を発表しました。近畿サイエンスデイは、近畿圏のSSH校が課題研究の発表を行う場として、主催の大阪府立天王寺高校が毎年開催しているイベントで、今年度は、奈良県立奈良高等学校、兵庫県立神戸高等学校、大阪府立北野高等学校、滋賀県立膳所高等学校、大阪府立天王寺高等学校、そして本校の6校が参加しました。他県のSSH校と研究をとおして交流することができ、大変良い経験をすることができました。

3月14日（土）に福井県のAOSSA（福井県民ホール）で開催された福井県合同発表会に、本校から普通科2班（「模型飛行機の翼の角度と飛行距離との関係」班、「口をつけた飲料の安全性検証」班）、理数科2班（「縦渦リニアドライブにおける高回転化を目的としたリング形状の検討」班、「波の強い状況下におけるアマモの種子の定着を促進する条件の検討」班）が参加し、ポスター発表を行いました。

初めて外部発表会に参加する生徒もいましたが、生徒達は数を重ねることで発表をブラッシュアップし益々磨きをかけていました。皆さんお疲れ様でした。

3月15日（日）に開催された「究める課題研究発表会 in Komatsu」（主催：小松高等学校、県教育委員会）に、本校からは理数科2班（「セルロースマイクロファイバー生成を見据えた簡便なホウレンソウの解繊方法の検討」班、「コールドルームを用いないフロストフラワーの生成方法の研究」班）と自然科学部（「タマネギ皮化/乾かしました」班）が参加し、ポスターセッションで研究成果を発表しました。主催の小松高校のほか、高志高校、藤島高校、小松明峰高校、小松工業高校、小松市立高校、大聖寺高校、金沢大学附属高校、金沢二水高校、星稜高校、星稜中学校、高松中学校の生徒、韓国の大田科学高校（オンライン参加）など県内外の多数の生徒が参加し、研究を通して交流を深めました。